

氏名

サゴウ	ミサ
左合	美紗

所属	九州歯科大学 顎口腔機能矯正学分野		
職名	助教		
最終学歴	九州歯科大学大学院歯学研究科	学位	歯学博士

専 門 分 野	歯科矯正学				
教 育 実 績	担当講座名称	単位数	講義時間数	実習時間数	学科・院の別
	歯科矯正学実習	30 単位	時間	45.0 時間	歯学科
	歯科矯正学I	1 単位	1.5 時間	時間	歯学科
	歯科矯正学II	1 単位	1.5 時間	時間	歯学科
	成長発育総論	1 単位	1.5 時間	時間	歯学科
		単位	時間	時間	
大学運営における主な 役職履歴 (過去5年間)					
研 究 分 野	歯科矯正学				
研究課題	課題名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外傷性口内炎モデルラットに発症する口腔内疼痛とその鎮痛メカニズムの解明</li> <li>・実験的歯牙移動モデルラットの疼痛メカニズム解明</li> <li>・顎変形症患者の長期安定性に関する因子の解明</li> <li>・セパレーティング処置を行う患者の疼痛と性格検査の関連性の解明</li> </ul>			
	キーワード (5つまで)	口腔顔面痛 口内炎 顎変形症			
	共同研究等の 実績				
研 究 業 績 (著書・発表論文等) (主 要 5 編)	Endothelin-1 Elicits TRP-Mediated Pain in an Acid-Induced Oral Ulcer Model. Nodai T, Hitomi S, Ono K, Masaki C, Harano N, Morii A, <b>Sago-Ito M</b> , Ujihara I, Hibino T, Terawaki K, Omiya Y, Hosokawa R, Inenaga K. J Dent Res. doi: 10.1177/0022034518762381. 2018.				
	<b>Ito M</b> , Ono K, Hitomi S, Nodai T, Sago T, Yamaguchi K, Harano N, Gunnjigake K, Hosokawa R, Kawamoto T, Inenaga K. Prostanoid-dependent spontaneous pain and PAR2-dependent mechanical allodynia following oral mucosal trauma: involvement of TRPV1, TRPA1 and TRPV4. Mol Pain. 13:1744806917704138. 2017.				
	Yamaguchi K, Ono K, Hitomi S, <b>Ito M</b> , Nodai T, Goto T, Harano N, Watanabe S, Inoue H, Miyano K, Uezono Y, Matoba M, Inenaga K. Distinct TRPV1- and TRPA1-based mechanisms underlying enhancement of oral ulcerative mucositis-induced pain by 5-fluorouracil. Pain. 157(5): 1004-1020, 2016.				
	郡司掛香織、木尾哲朗、黒石加代子、 <b>伊藤美紗</b> 、森田淳平、志賀百年、川元龍夫：日本における矯正歯科標榜歯科医療機関数と日本矯正歯科学会認定医数から見る医療アクセス。九州矯正歯科学会誌、13 (1) 2017				
産学官連携実績 (主 要 3 件)	----- -----				
産学官連携 可能・希望分野					
取得した実用新案特許等 (主 要 5 件)					
所 属 学 会 (主 要 5 件)	日本矯正歯科学会、九州矯正歯科学会、日本顎変形症学会、歯科基礎医学会、日本口蓋裂学会				